「令和の日本型学校教育」では、「9年間を見通した新時代の義務教育の在り方」が示されています。あなたは教員として、義務教育9年間を通した教育課程等の実施に向けて、どのように取り組んでいきますか。「資料」を参考にしながら、具体的な取組を挙げて500字程度で述べなさい。

「資料」

2．9年間を見通した新時代の義務教育の在り方について

(2)教育課程の在り方

① 学力の確実な定着等の資質・能力の育成に向けた方策

・新学習指導要領で整理された資質・能力の3つの柱をバランスよく育成することが必要であり、ICT環境を最大限活用し、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を充実していくことが重要

・児童生徒の発達の段階を考慮し、各教科等の特質を生かし、教科等横断的な視点から教育課程の編成・充実を図る

・小学校高学年への教科担任制の導入、学校段階間の連携強化、外部人材の配置や研修の導入等が必要

・発達の段階にかかわらず、児童生徒の実態を適切に捉え、その可能性を伸ばしていくことができるよう環境を整えていくことも重要

・各学校段階を通した学びに向かう力の育成、キャリア教育の充実

② 補充的・発展的な学習指導について

ア 補充的・発展的な学習指導

・指導方法等を工夫した補充的な学習や学習内容の理解を深め広げる発展的な学習を取り入れる

・必要に応じて異なる学年の内容を含めて学習指導要領に示していない内容を加えて指導

イ 特定分野に特異な才能のある児童生徒に対する指導

・知的好奇心を高める発展的な学習の充実や、学校外の学びへ児童生徒をつないでいくことなど、国内の学校での指導・支援の在り方等について、遠隔・オンライン教育も活用した実証的な研究開発を行い、更なる検討・分析を実施

③ カリキュラム・マネジメントの充実に向けた取組の推進

・各学校や地域の実態を踏まえ、教科等間のつながりを意識して教育課程を編成・実施

・各学校が持っている教育課程の編成・実施に関する裁量を明確化するとともに、総枠としての授業時数は引き続き確保した上で、教科等ごとの授業時数の配分について一定の弾力化が可能となる制度を設ける

「令和の日本型学校教育」の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～（答申）【概要】（抜粋） 令和3年1月26日中央教育審議会

※横書きで記入のこと

100

200

300

400

500

600

※何も記入しないでください。